

◇ 環境経営レポート ◇

2022年度

(期間：2022年4月～2023年3月)



本社工場



第二工場

発行日 2023年5月8日
改訂日 2023年6月19日



ミツバ電機工業株式会社



®環境省
エコアクション21
認証番号0001813

■ 目 次

□計画の策定 (Plan)

- (1) 組織の概要
(事業者名、所在地、事業の概要、事業規模など)
- (2) 対象範囲（認証・登録範囲）、
レポートの対象期間及び発行日
- (3) 環境経営方針
- (4) 環境経営目標
- (5) 環境経営計画

□計画の実施 (Do)

- (6) 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制含む）

□取組状況の確認及び評価 (Check)

- (7) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- (8) 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反、起訴などの有無

□全体の評価と見直し (Act)

- (9) 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

ミツワ電機工業株式会社
代表取締役社長 山田 浩

2. 所在地 本社・工場 : 〒583 - 8550 大阪府羽曳野市誉田7丁目720番地
第二工場 : 〒583 - 0857 大阪府羽曳野市誉田7丁目714番地
URL <http://www.mitsuwa-ec.co.jp>
TEL 072 (954) 2381/FAX 072 (954) 2389

3. 設立 1959年12月24日

4. 事業の概要及び事業規模

- ・事業概要 マグネシウム事業 ・ 完成品事業 ・ プラスチック事業
- ・資本金 98,000,000円
- ・製品生産量 1,418トン (2022年度)
- ・製品出荷高 4,672,285千円 (2022年度)

事業所名	社員数	延べ床面積
本社・工場	166名	5,941.49㎡
第二工場	124名	2,211.57㎡

社員数290名 (社員数は、役員・正規・嘱託・パート社員・派遣社員を含む)

(2) 対象範囲 (認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

1. 認証・登録範囲

業務用電気製品、ウォーターサーバー、浄水器等の製造、
プラスチック及びマグネシウム合金の射出成形部品の製造



2. レポートの対象期間及び発行日

対象期間 : 2022年4月1日～2023年3月31日
発行日 : 2023年5月8日

(3) 環境経営方針

環境基本方針

『環境に優しい会社を目指す。』

環境経営方針

1. エコアクション21の活動へ積極的に参加し、これを運用・維持する。
2. 教育等を通して全社員を啓発し、社会人としての環境保全意識の向上を図る。
3. 事業活動による課題・チャンスを確認し、目標を定め、これを実行する。
4. 環境負荷の継続的な削減に取り組む。
5. 環境に関する法規制及びその他の同意する要求事項を遵守する。
6. 内部環境監査を実施し、継続的な改善、及び環境管理の維持向上に努める。
7. 顧客のグリーン調達基準に従い、化学物質の管理に取り組む。
8. 生産・販売・提供する製品及びサービスについて、環境に配慮し取り組む。

方針及び目標を具体化するため、環境経営マニュアル及び環境手順書を遵守し、全員が実行することにより、社会から信頼を得る会社づくり、環境の保全及び経費の削減を図る。全員には、掲示及び教育訓練により徹底する。

制定日 : 2006年11月 1日

改定日 : 2022年 4月 1日

ミツワ電機工業株式会社

代表取締役社長

山田 浩

(4) 環境経営目標

2022年度

1. 二酸化炭素排出量の削減	前年比1%削減
2. 廃棄物排出量の削減(一般・産業廃棄物)	前年比1%削減
3. 水使用量の削減	現状維持
4. 化学物質使用量の削減	適正管理
5. 社会貢献(清掃活動)	週1回
6. 製品及びサービスへの取組	各部門1件

(5) 環境経営計画

項目		2023年度	2024年度	2025年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	-1.0%	-0.5%	-0.5%
	LPガス使用量	現状維持	現状維持	現状維持
	ガソリン使用量	-1.0%	-0.5%	-0.5%
	二酸化炭素排出量	-1.0%	-0.5%	-0.5%
2. 廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	-1.0%	-0.5%	-0.5%
	産業廃棄物排出量	-1.0%	-0.5%	-0.5%
3. 水使用量の削減	水使用量	現状維持	現状維持	現状維持
4. 化学物質使用量の削減	使用量の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5. 社会貢献	会社周辺の清掃活動	週1回	週1回	週1回
6. 製品及びサービスへの取組		各部門1件	各部門1件	各部門1件

*2022年基準を設定し、2023年度からの計画設定

*CO2排出係数も、2023年度より改定

(6) 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制含む）

管理項目	環境負荷項目	単位		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1. 二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量	千kWh	目標	3,530	3,497	3,460	3,425
			実績	3,810	3,137	4,038	3,919
			達成率	93%	111%	86%	87%
		(原単位)※1 kWh / 売上高(10万円)	目標	98.0	97.0	96.1	95.1
			実績	101.2	92.1	97.7	83.9
			達成率	97%	105%	98%	112%
	LPガス使用量	kg	目標	152.4	152.4	152.4	152.4
			実績	121.7	94.2	114.7	114.7
			達成率	125%	162%	133%	133%
	ガソリン使用量	リットル	目標	4,805	4,756	4,709	4,297
			実績	3,867	3,794	4,163	3,896
			達成率	124%	125%	113%	110%
	二酸化炭素 排出量	千kg-CO2	目標	1,886	1,868	1,849	1,830
			実績	2,033	1,675	2,154	2,090
			達成率	93%	112%	86%	88%
(原単位)※1 kg-CO2 / 売上高(10万円)		目標	52.4	51.9	51.3	50.8	
		実績	54.0	49.2	52.1	44.7	
		達成率	97%	105%	98%	113%	
2. 廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物 排出量	t	目標	116.2	115.0	113.8	112.6
			実績	119.0	127.0	142.0	165.0
			達成率	98%	91%	80%	68%
	産業廃棄物 排出量	t	目標	165.6	163.8	162.1	160.5
			実績	181.2	119.9	226.3	202.0
			達成率	91%	137%	72%	79%
	廃棄物 総排出量	t	目標	282.1	279.4	276.9	273.1
			実績	300.2	246.9	368.3	367.0
			達成率	94%	113%	75%	74%
		(原単位)※1 t / 売上高(1億円)	目標	7.83	7.75	7.68	7.60
			実績	7.97	7.25	8.91	7.86
			達成率	98%	107%	86%	96%
3. 水使用量の 削減	水使用量	m ³	目標	4,912	4,912	4,912	4,912
			実績	5,496	5,093	5,589	5,729
			達成率	89%	96%	88%	86%
		(原単位)※1 m ³ / 売上高(1000万円)	目標	13.8	13.8	13.8	13.8
			実績	14.6	14.9	13.5	12.3
			達成率	94%	92%	102%	112%

管理項目	環境負荷項目	単位		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
4. 化学物質使用量の削減	使用量の適正管理			対象物が少量のため削減目標は設定せず、使用量の適正管理を実施する。			
5. 社会貢献	会社周辺の清掃活動	回	目標	50	48	48	48
			実績	50	48	48	48
			達成	○	○	○	○
6. 製品及びサービスへの取組		項目	目標	4	3	3	3
			実績	4	2	2	2
			達成	○	○	×	×
製品売上高	千円	実績	3,764,385	3,405,173	4,131,346	4,672,285	
製品生産量	t	実績	1,626	1,350	1,514	1,418	

※1 原単位（2011年度よりデータ算出し、2012年度より評価）

- ・原単位は、生産に関連する売上（製品売上）より計算し、有効桁2桁以上になるように各項目設定
- ・原単位の評価対象：電力使用量、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量

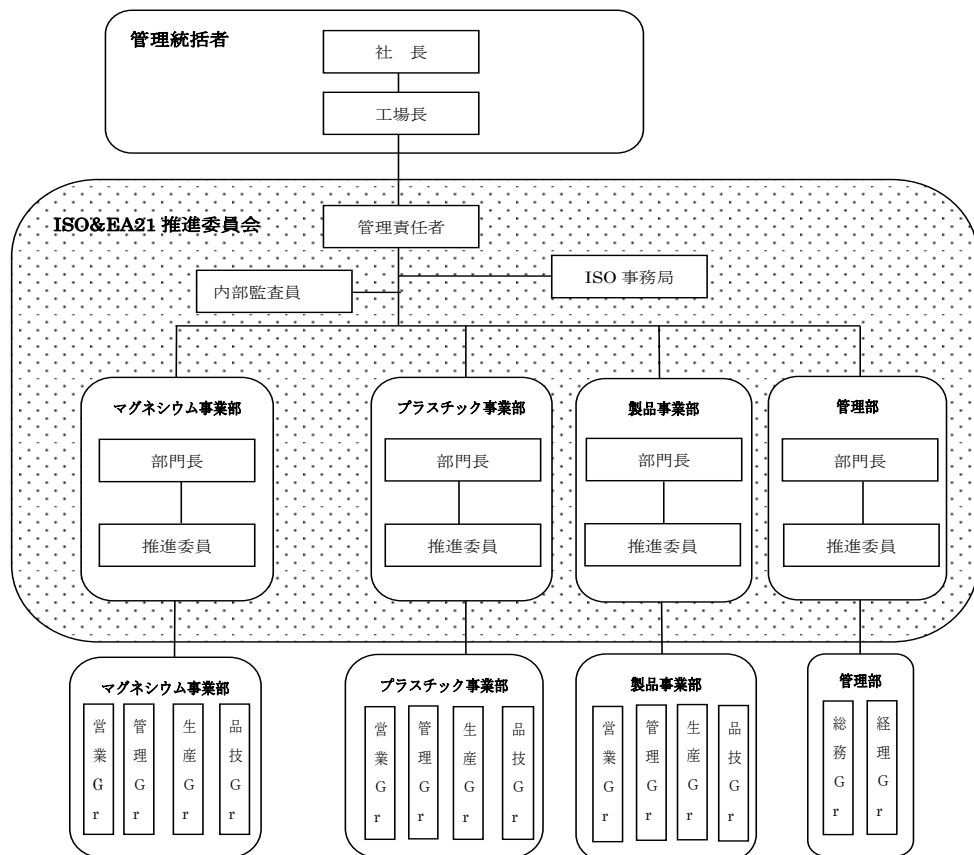
*CO2排出係数：電力 0.531(kg-CO2/kWh),LPガス 0.0598(kg-CO2/MJ),ガソリン 0.0671(kg-CO2/MJ)
(2015年度までは、0.366kg-CO2/kWh、2016年度からは、0.531kg-CO2/kWh を使用)

*データ値は、本社工場・第二工場を合算

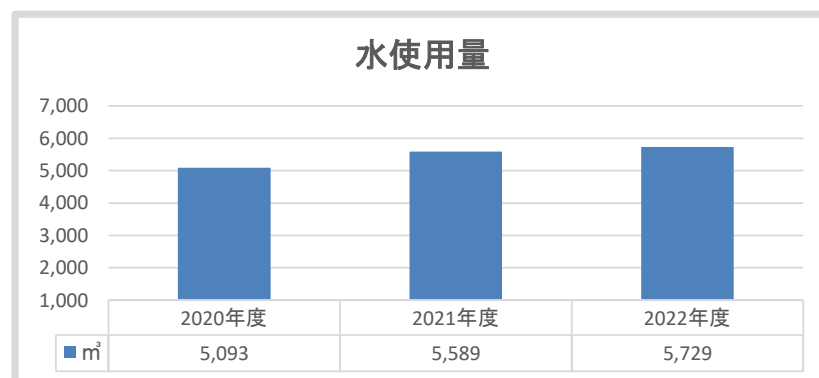
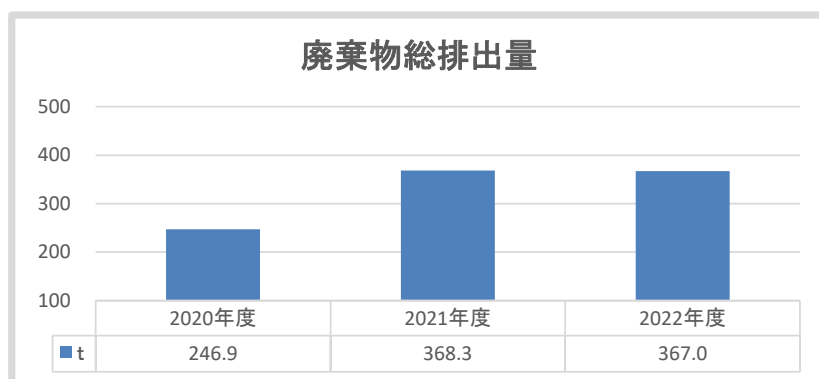
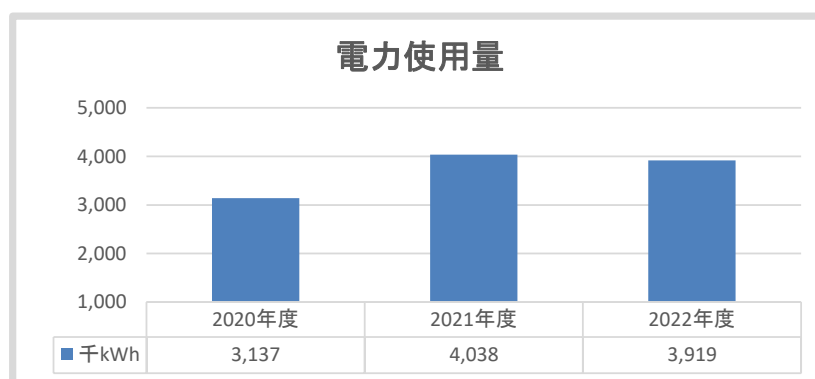
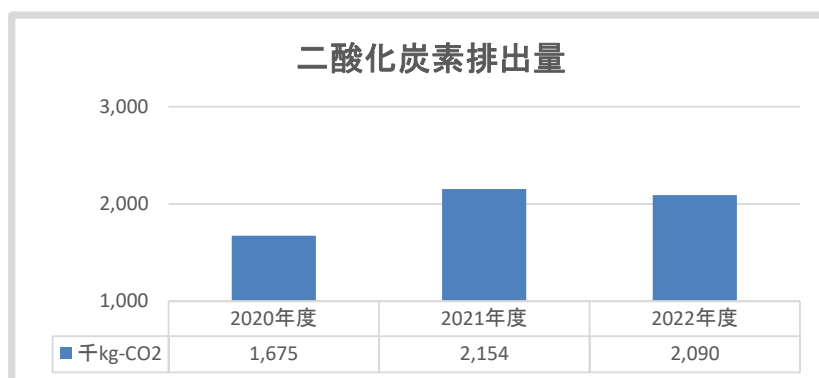
*化学物質（シクロロメタン）は、2013年度より使用廃止

*2016年度より、2015年度基準での目標値に設定

★実施体制



★過去3年の主な環境実績の推移

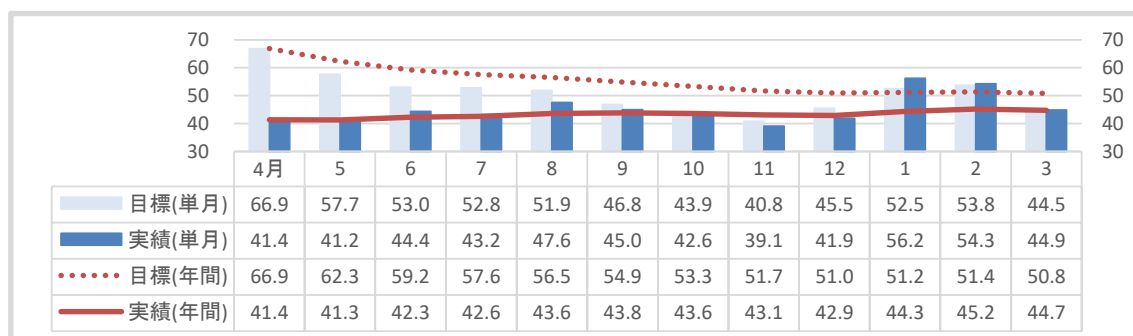


(7) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

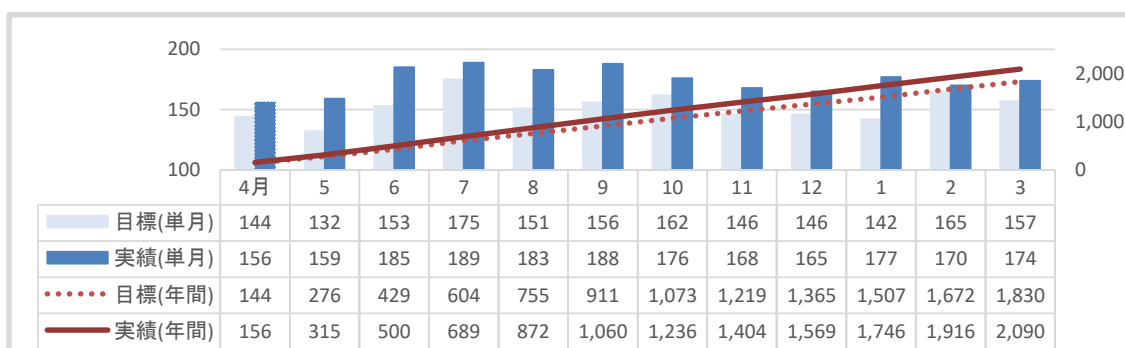
(1) 二酸化炭素排出量の削減

【取組内容】 電力、LPガス、ガソリンの使用量の削減

【実績】 ★原単位：kg-CO2/売上高(10万円) 達成率：113% (年間目標：50.8、実績：44.7)



★排出量：千kg-CO2 達成率：88% (年間目標：1,830、実績：2,090)



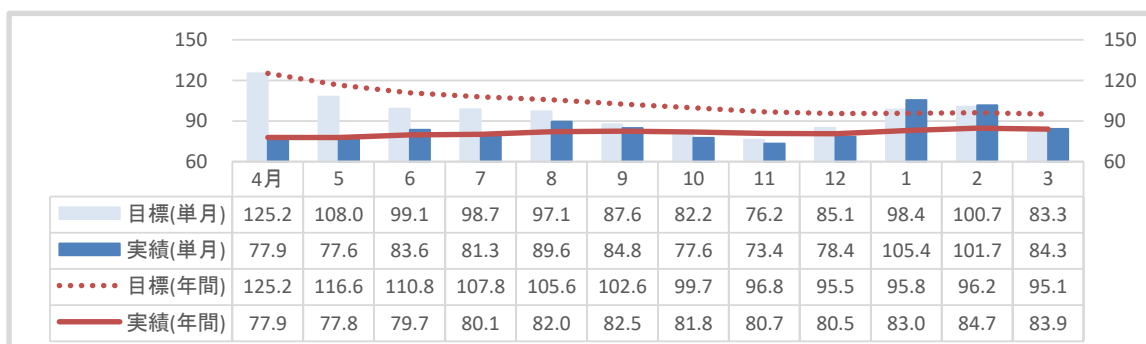
【評価】 ○：達成 製品売上高の増加により、排出量は増加したが、原単位での目標は達成。

【次年度の取組】 2015年基準に基づく目標設定をしていたが、来年度より2022年度基準を設定し、目標を見直す。契約電力会社の変更に伴い、CO2排出係数についても見直しを行う。

①電力使用量の削減

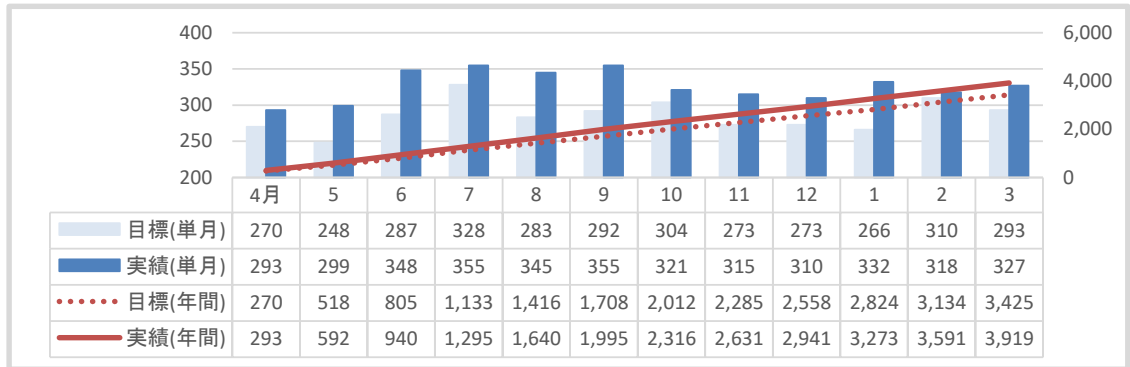
【取組内容】 空調機の適温管理・清掃・点検、パソコンの省エネ設定、照明及び設備の未使用時電源OFF、省エネ型設備の導入

【実績】 ★原単位：kWh/売上高(10万円) 達成率：112% (年間目標：95.1、実績：83.9)



★使用量：千kWh

達成率； 87% (年間目標； 3,425、実績; 3,919)



【評価】 ○：達成 使用量は増加しているが、製品売上高の増加により、原単位での目標は達成。

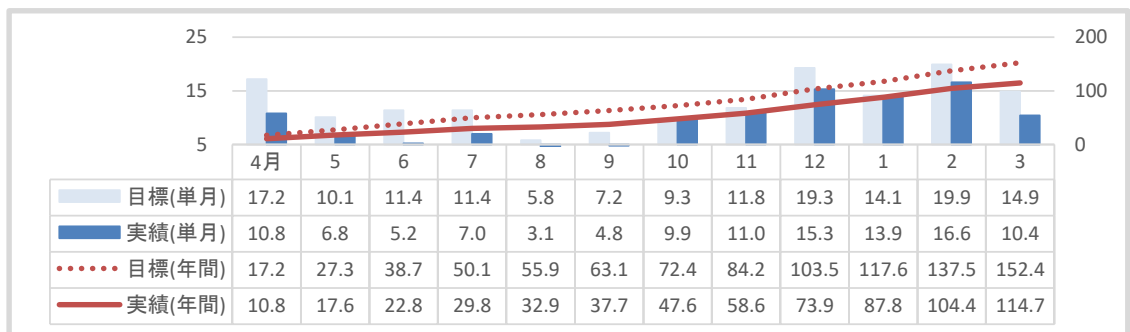
【次年度の取組】 2015年基準に基づく目標設定をしていたが、来年度より2022年度基準を設定し、目標を見直す。引き続き、削減のための取り組み内容を継続して行う。

②LPガス使用量の削減

【取組内容】 必要以上の使用の制限

【実績】 ★使用量：kg

達成率； 133% (年間目標； 152.4、実績; 114.7)



【評価】 ○：達成 目標達成。

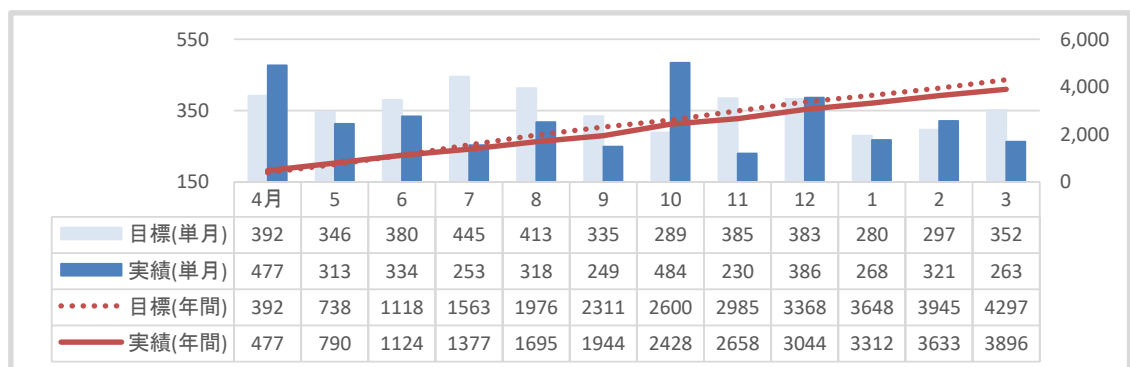
【次年度の取組】 現在の取組を継続する。

③ガソリン使用量の削減

【取組内容】 アイドリングストップの実施、省エネ運転の実施、車輛点検の実施、エコカーの導入

【実績】 ★使用量：リットル

達成率； 110% (年間目標； 4,297、実績; 3,896)



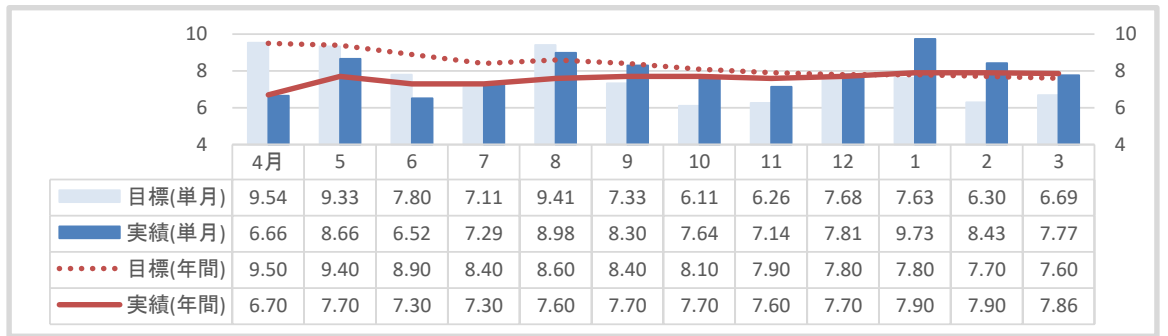
【評価】 ○：達成 目標達成。

【次年度の取組】 現在の取組を継続する。

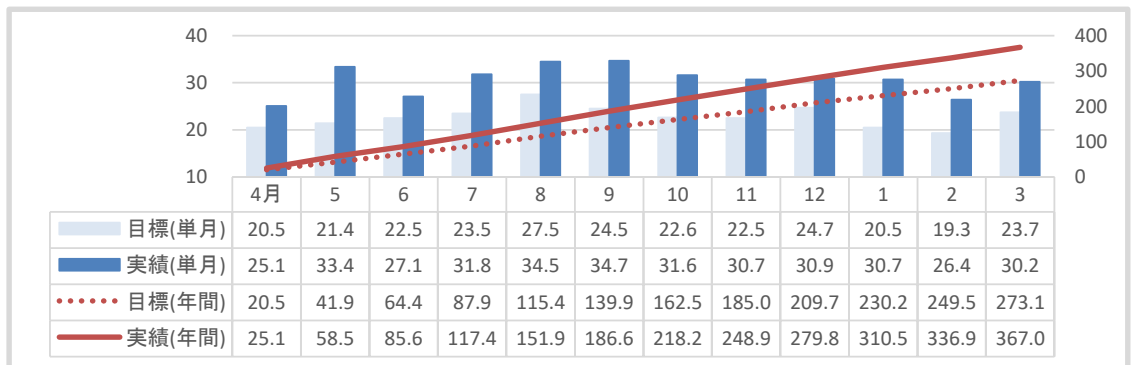
(2) 廃棄物総排出量の削減

【取組内容】 一般廃棄物、産業廃棄物の削減

【実績】 ★原単位：t/売上高(1億円) 達成率；96% (年間目標；7.60、実績；7.86)



★排出量：t 達成率；74% (年間目標；273.1、実績；367.0)



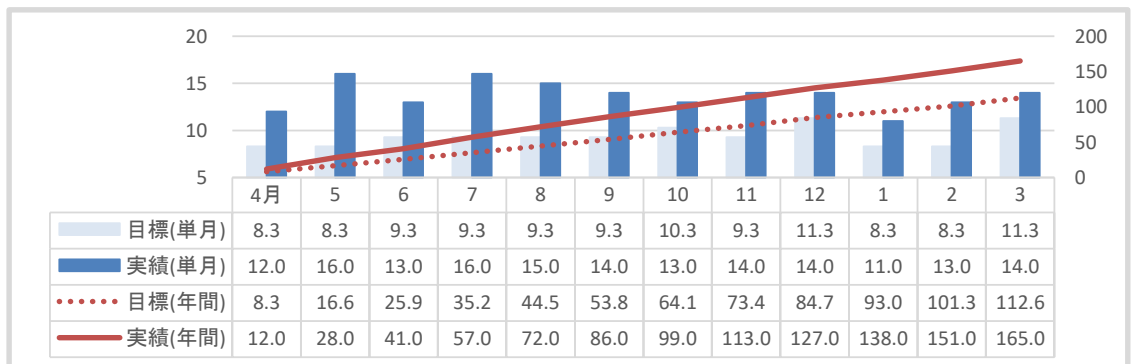
【評価】 ×：未達成 一般廃棄物、産業廃棄物の増加により年間廃排出量が全体的に増加し、未達成。

【次年度の取組】 2015年基準に基づく目標設定をしていたが、来年度より2022年度基準を設定し、目標を見直す。リサイクル化をさらに進め、全体総排出量の削減を行う。

①一般廃棄物排出量の削減

【取組内容】 包装・梱包材の削減・再利用、紙ゴミの分別

【実績】 ★排出量：t 達成率；68% (年間目標；112.6、実績；165.0)



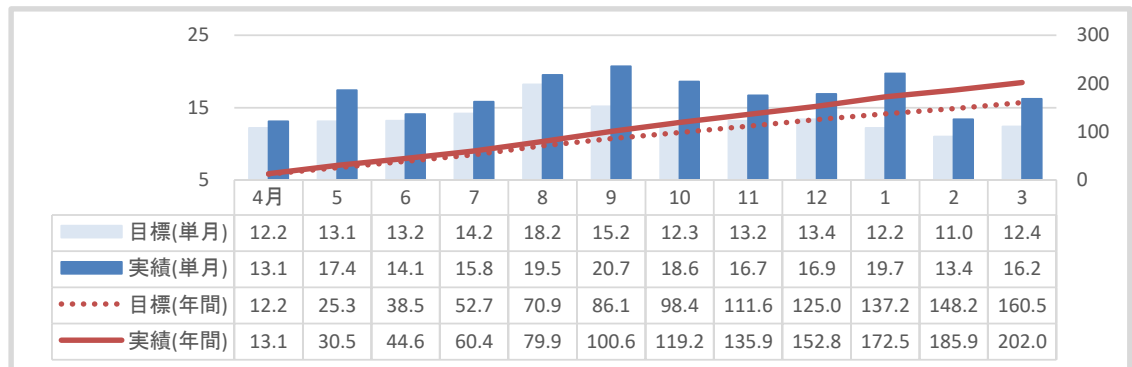
【評価】 ×：未達成 目標値の設定が厳しく、年間排出量も増加したため、未達成。

【次年度の取組】 2015年基準に基づく目標設定をしていたが、来年度より2022年度基準を設定し、目標を見直す。一般廃棄物の分別を強化。紙ゴミ、段ボールのリサイクル量を増やす。

②産業廃棄物排出量の削減

【取組内容】 廃棄物の分別、リサイクル化促進

【実績】 ★排出量：t 達成率：79%（年間目標：160.5、実績：202.0）



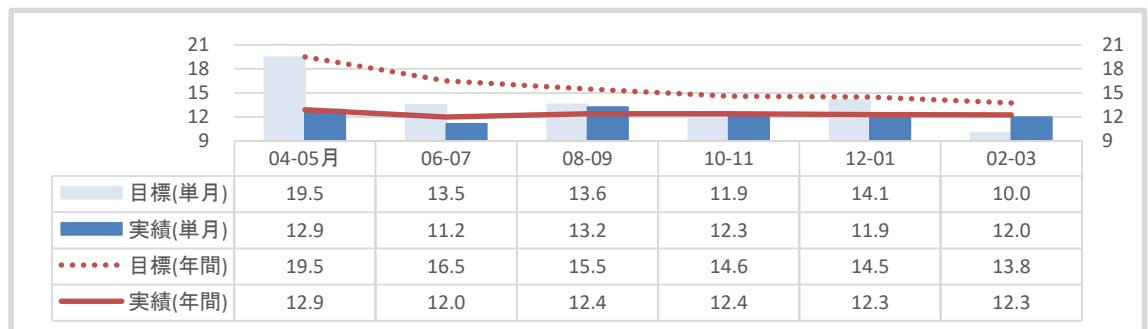
【評価】 ×：未達成 目標値の設定が厳しく、年間排出量も増加（特に廃油）したため、未達成。

【次年度の取組】 2015年基準に基づく目標設定をしていたが、来年度より2022年度基準を設定し、目標を見直す。産業廃棄物の分別を強化。金属類のリサイクル量を増やす。

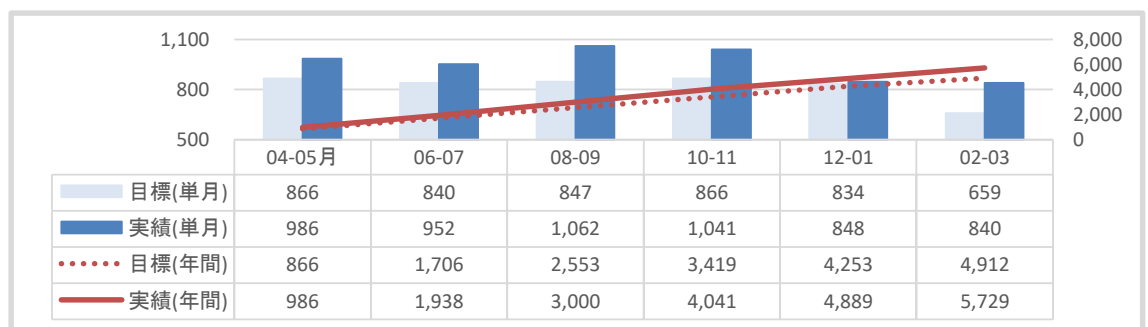
（3）水使用量の削減

【取組内容】 節水、節水コマの設置

【実績】 ★原単位：m³/売上高(1000万円) 達成率：112%（年間目標：13.8、実績：12.3）



★水使用量：m³ 達成率：86%（目標：4,912、実績：5,729）



【評価】 ○：達成 使用量は増加しているが、製品売上高の増加により、原単位での目標は達成できた。

【次年度の取組】 2015年基準に基づく目標設定をしていたが、来年度より2022年度基準を設定し、目標を見直す。

(4) 化学物質の削減

対象物が少量のため削減目標は設定せず、使用量の適正管理を実施する。

(5) 社会貢献

【取組内容】 週1回の会社周辺の清掃活動

【実績】 ★実施回数 (目標； 48、実績； 48)

【評価】 ○：達成 中学校関係者の方や、会社周辺の住民の方も定期的に清掃活動をされていて、地域の定着した活動となっている。

【次年度の取組】 今後も毎週1回の活動として、継続する。

(6) 製品及びサービスへの取組

【取組内容】 ・プラスチック事業部 ; 医療品工程不良率、医療品以外工程不良率の目標値達成
・マグネシウム事業部 ; 完成品工程不良率の目標値達成
・製品事業部 ; 環境負荷の少ない製品の販売促進

【実績】 ・プラスチック事業部
【医療品以外工程不良率(ppm)】 (年間目標； 4,500、実績; 1,127)
【医療品工程不良率(ppm)】 (年間目標； 21,000、実績; 16,142)

・マグネシウム事業部
【完成品工程不良率(ppm)】 (年間目標； 80,000、実績; 18,959)

・製品事業部
【販売台数(台)】
US-100 (年間目標； 3,456、実績; 3,024) *
プレミアム (年間目標； 7,136、実績; 5,352) *

【評価】 ×：未達成 ・製品事業部における対象製品の販売台数
プレミアムの終売、US-100の読み違いなどがあり、販売目標が達成できなかった。

【次年度の取組】 未達成に対しては是正処置を行い、目標を再検討し、設定する。

(8) 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、起訴などの有無

適用法令の遵守状況は、下記のとおりです。

法規制の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	遵守状況
羽曳野市環境美化条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の責務 廃棄物の適正管理、減量化 汚水、油類の排出防止 事業活動による騒音防止 	EA21の取組を通じて遵守	○
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 保管基準 処理業者との契約、許可証写し保管 マニフェスト保管 知事報告（マニフェスト遅延、処理困難） 産業廃棄物管理票交付等状況報告 	産業廃棄物 一般廃棄物	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> 危険物保管の指定数量以上の許可 消防設備の法定点検、報告 消防訓練の実施 	危険物倉庫 貯蔵庫 成形現場	○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> 保守点検及び清掃 水質検査（11条） 	浄化槽	○
水道法	<ul style="list-style-type: none"> 保守点検及び清掃 水質検査（34条） 	受水槽、高架水槽	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> 装置から発生する騒音規制 特定施設の設置届出 	成形機、マシニングセンタ、 集塵機、クーリングタワー、 空気圧縮機、プレス機	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> 装置から発生する振動規制 特定施設の設置届出 	粉碎機、プレス機、 空気圧縮機、成形機	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の設置届出 	湿式集塵機	○
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の設置届出 	浄化槽	○
大阪府生活環境の保全に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の設置届出 	湿式集塵機	○
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の設置届出 	集塵機、仕上ホット、 ショットブラスト、粉碎設備一式	○
土壌汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> 土壌調査（工場移設時） 		○
CO ₂ 排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> 引取証明 簡易点検。（3ヶ月に1回） 定期点検。（3年に1回） 点検記録の3年保管（機器廃棄後） 	業務用空調設備	○
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントの実施 	化学物質	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 適切な引き渡し、費用負担 	エアコン、テレビ、冷蔵庫、 洗濯機	○
小型家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 適切な引き渡し、費用負担 	パソコン、デジタルカメラ他	○

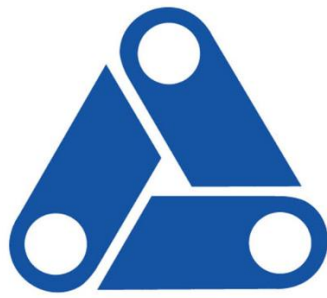
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。
また、過去3年間にわたり、関係当局より違反等の指摘や訴訟はありません。

(9) 代表者による全体の評価と見直し・指示

【総合評価と指示事項】

- 環境活動において、社員一人一人の自覚が必要。
- 新入社員や中途社員、ISO関連の理解度が低い社員に対して、理解を深める対応が必要。
- 社内の啓発活動や、社内教育(ISO関連テストなど)実施など、さらに推進していく事。

なお、次回の環境経営レポートの発行は、2024年5月ごろを予定しています。
(2023年4月1日～2024年3月31日分)



mitsuwa